

# 平成26年度野生鳥獣による農作物被害調査結果の概要(速報値)

## 1 調査方法

本調査は、「鳥獣による農林水産業等に係る被害の防止のための特別措置に関する法律（平成19年法律第134号）」に基づき、国の調査依頼を受けて実施しています。

調査結果は、各市町村が、被害を受けた作物の被害額や鳥獣の種類等について、農業共済組合への照会、被害農家からの報告やJA等の関係団体への聞き取り等により調査した結果を、県が取りまとめたものです。

なお、鳥獣別・作物別の被害額は、県のホームページに掲載します。

また、本調査結果の確定値は、国の公表に合わせて公表予定です。

## 2 調査結果の概要

○平成26年度における鳥獣による農作物被害額は、前年度より1千7百万円（▲4%）増加し、4億7千2百万円となりました。被害額は平成23年度以降減少傾向にありますが、依然として高い水準にあります。

○被害額を鳥獣類別に見ると、イノシシによる被害が最も大きく63%（2億9千9百万円）、次いでカラス15%（7千2百万円）となっています。

○増減額を主な鳥獣類別に見ると、イノシシの増加額が最も大きく、1千9百万円（7%）、次いでヒヨドリが1千2百万（245%）増加しています。増加の主要因としては、イノシシに関しては一部地域における被害地域の拡大が挙げられます。特に水稲、野菜への被害が増加しました。ヒヨドリに関しては、前年度に比べ飛来量が多かったのが原因と考えられます。

被害が減少した鳥獣としては、カラスが1千5百万円（▲18%）減少しています。減少の主な理由は、市町村によって状況は異なるものの、地域ぐるみで行っている被害防除や有害捕獲等の効果により被害が減少したと考えられます。

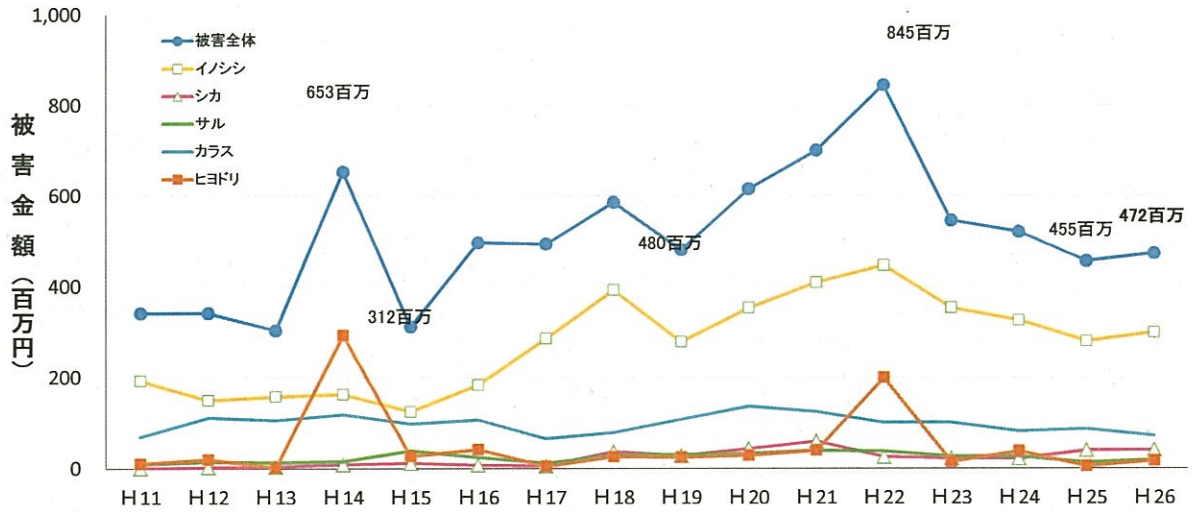
○地域別に見ると、被害が増加しているのは5地域で、このうち上益城、八代地域では被害額が1千万円以上増加しています。主にイノシシ被害が増加しました。被害が減少しているのは6地域です。

○市町村別に見ると、被害額は19市町村で増加し、25市町村で減少しています。

### 平成26年度農作物被害額

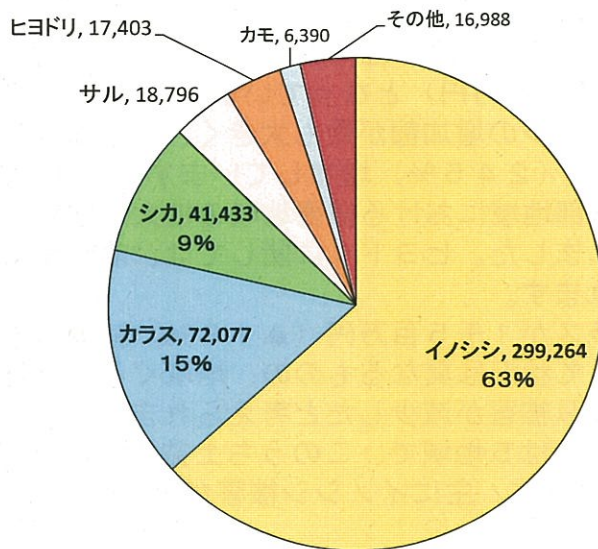
項目	被害額	前年度からの増減額
全 体	4億7235万円	約1千7百万円増加(4%)
うち イノシシ	2億9926万円	約1千9百万円増加(7%)
うち カラス	7208万円	約15百万円減少(▲18%)
うち シカ	4143万円	約1.1百万円増加(3%)
うち サル	1880万円	約5.7百万円増加(43%)
うち ヒヨドリ	1740万円	約1千2百万円増加(245%)

### 被害額の推移

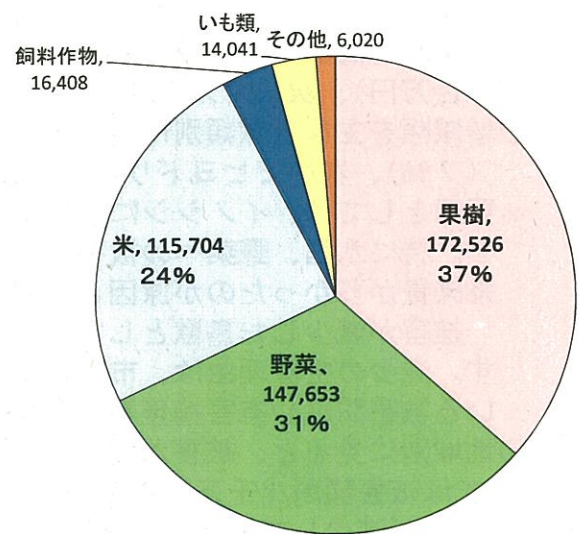


### 鳥獣別・作物別被害額

「県全体 H26 鳥獣別被害金額(千円)」



「県全体 H26 作物別被害金額(千円)」



### 地域別の被害額推移

